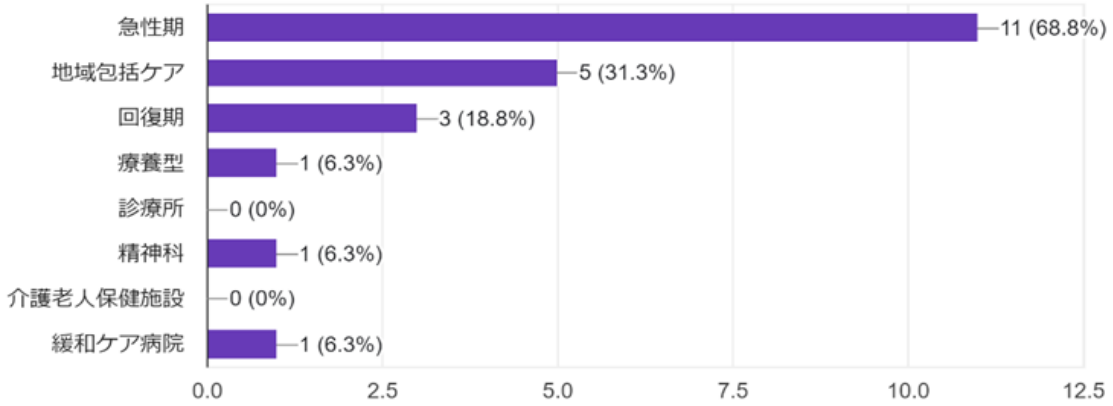
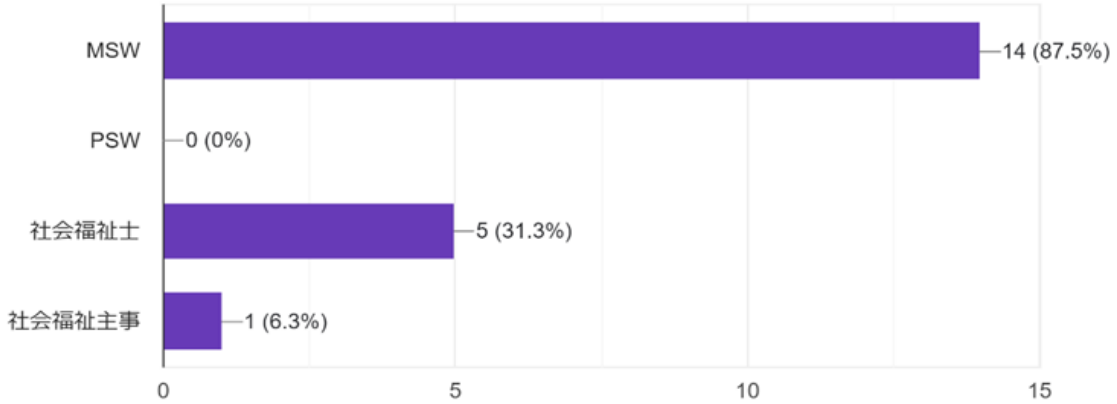
初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・急性期」
講師名：宮城 幸之佑
研修日：2023年8月20日（日）
受講者数：　17名　アンケート回答者　16名

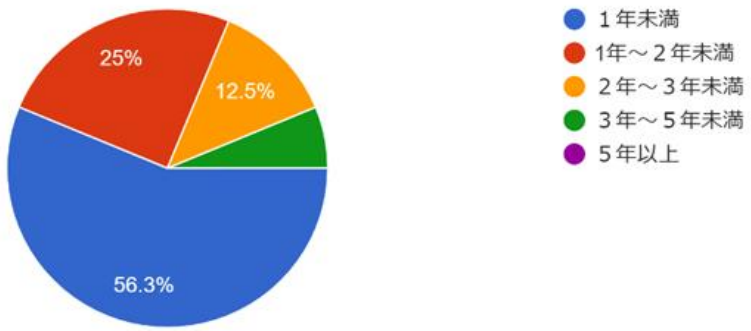
1．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
16 件の回答



2．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
16 件の回答



3．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。
16 件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

①急性期病院とは　②DPC　③急性期MSW支援のポイント

①急性期治療がいらなければ入院なし　②医療機関との面会年3回　③謙虚な姿勢

①中頭病院について　②MSWに必要なこと　③MSWの心構え

①急性期の役割　②各病院や施設の機能　③急性期MSWが支援するポイント

①急性期病院の機能　②急性期病院で働くワーカーに必要なこと　③医療施設と介護施設の違い

①加算を学ぶ事ができとても勉強になりました。心得についてはとても実感しているところであり、
質問の投げかけ方にも工夫が必要だと感じています。

①リハビリが出来高　②回復期と地域包括の調整の難しさ　③急性期と回復期の介入方法の違い

①急性期病院について　②急性期病院、重要な基準　③急性期で働くM SW支援のポイント。

①急性期のMSWの必要性　②DPCの点数　③外来からのキャッチ

①DPCにおいて在院日数に応じて3段階定額報酬が設定されており、早期の退院調整が必要になること
②急性期は入退院のスピードが早いためその分素早くニーズをキャッチし必要な情報提供をできるように
知識を身に染みさせることが必要であること
③患者様やご家族に追い出されたと思われないようにソーシャルワークの価値や倫理を念頭に入れて
しっかり気持ちを汲み取ることが重要であることを学びました。

①急性期病院の機能　②DPCについて　③退院調整のスピードが早いの中での支援のキャッチ方法

①DPC(包括評価)方式→どこの病院でも同じ病気であれば、同じ医療を受けることができる、が目的
②外来から支援をすることでスムーズな入退院支援につなげることができる
③MSWは、猛スピードかつ複数で通りすぎる情報から支援が必要なケースを探しだして、支援を行う時間を
ひねり出したり、円滑な支援ができるような体制を作り出すのが大切

①急性期病院の役割　②急性期病院の対象　③MSWの役割

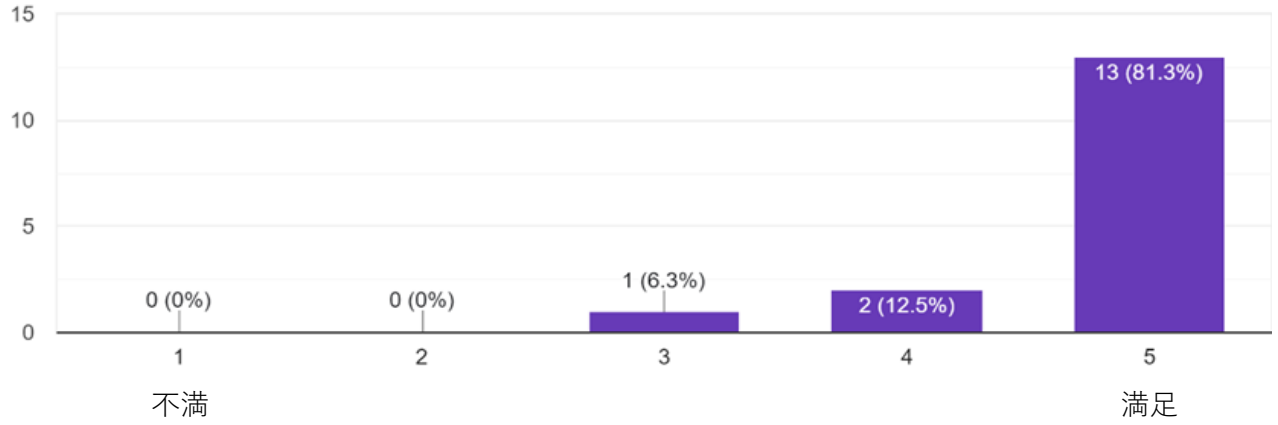
①1日40名近くの患者が入院するため、短い期間でアセスメントを行う必要がある
②急性期治療が終わりそのまま自宅退院となる方もいるため、在宅ケアへの医療処置・病状伝達のために
退院支援看護師が必要
③瞬時に思い出せるくらいに病院や関係機関の機能や制度を理解しておく必要がある

①急性期病院の役割　②DPC　③MSWに必要なこと

①急性期病院とは　②DPCとは　③急性期の支援のポイント

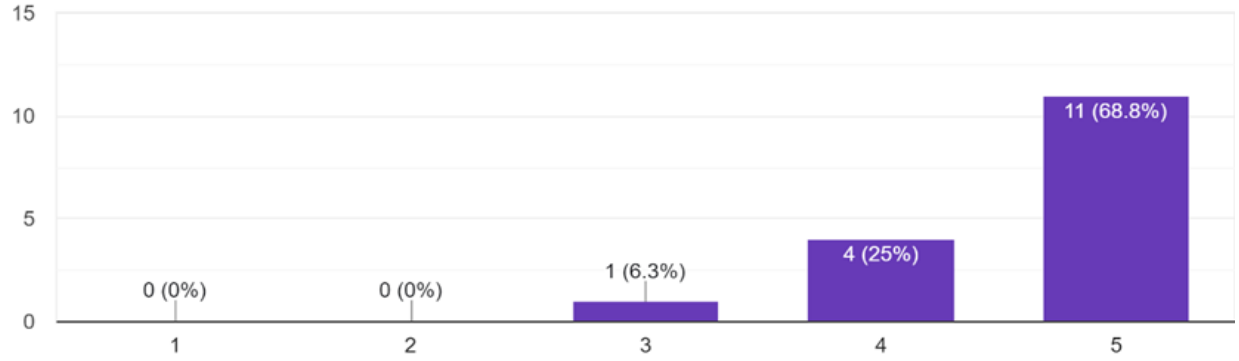
5．講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

16 件の回答



6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

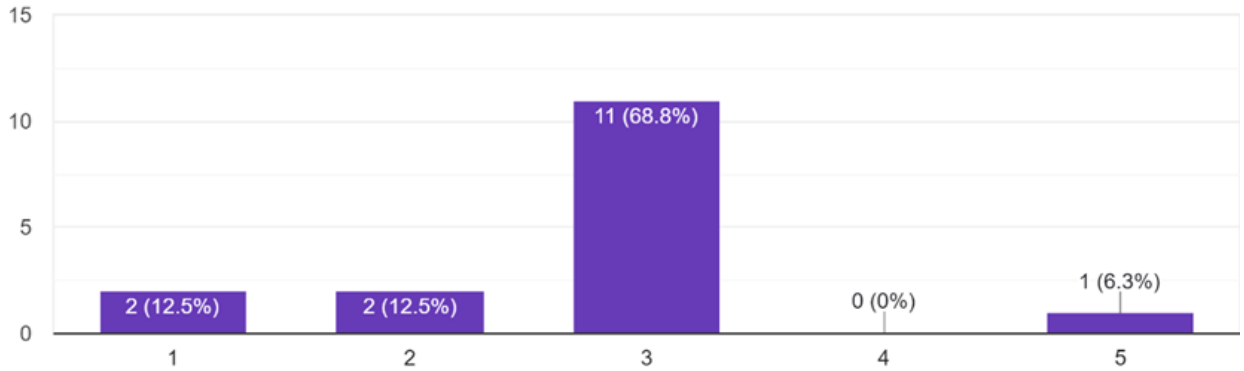
16 件の回答



理解できなかった　　理解できた

7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

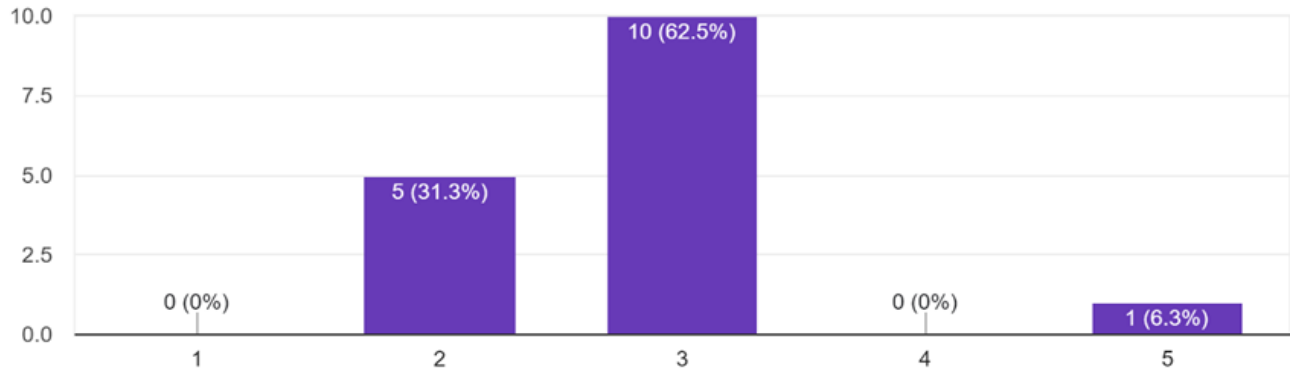
16 件の回答



易しい　　難しい

8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

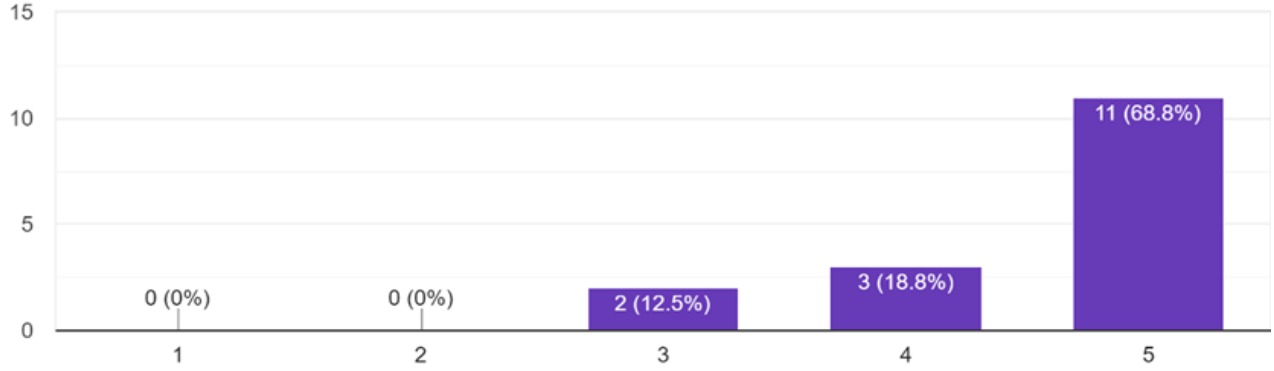
16 件の回答



短い　　長い

9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

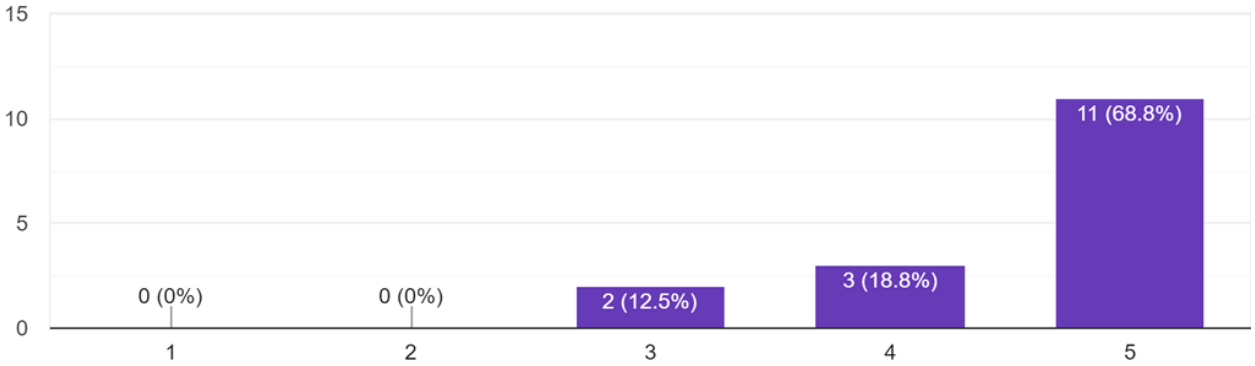
16 件の回答



分かりにくい　　分かりやすい

10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。 【５段階】

16 件の回答



できない　　できる

11．本研修について具体的な感想・意見・質問をお聞かせください。

・同じ急性期でも同じ部分と違う部分を知れた

・とてもわかりやすい講義でした。

・レジュメが反転してて少し見づらかった

・MSWの基礎を学べてよかった

・自分が所属する急性期について改めて学べた事で、自分自身の役割を考え直すきっかけになれた。
やはりスピード感を維持する為にも様々な能力を身に付けないといけないと感じた。

・回復期と包括ケアの特徴と事例はとても勉強になりました。ありがとうございます。

・急性期病院でＭＳＷとして、働くために必要なことを学べたことは、今後仕事を続ける上でとても有意義。

・短いスパンの中で入退院調整が必要になる急性期で、MSWに必要なことや加算等について学ぶことができました。特に後半のMSWに必要なことや新人MSWに伝えたいことの内容は普段、業務するなかで忘れずに意識したいと思いました。

・急性期病院で働いているので、ある程度のことは把握しているつもりでしたが、意外と分かっていないのもあり勉強になりました。例えば、DPC方式について入院が長期化すると病院に入ってからお金が減ってくるというのを知り調整を早めるのは厳しいベッド状況だけでなく、病院の経営視点的な目も大事になってくるのだと思いました。

・MSWとして大切な姿勢も学ぶことができ、今一度自分の患者さん・家族に向き合う姿勢や、自分の中で抱えている思いを整理し、感性が鈍っていないか日々点検していきたいと思いました。

・普段、急性期病院とやりとりをするので改めて急性期病院の役割を勉強することができて良かった。

・情報収集を効率良く行って、必要な支援につなぐ調整をスピーディーに行うスキルが求められると思った。

・急性期病院の役割等について理解が深まりました。ありがとうございます

・急性期病院とは転院調整でよく関わるが、1日40名の入院患者を短期間で自宅退院か転院の調整を行うと考えると、かなり時間配分の調整が大事だと強く感じました。このことを踏まえて今後も連携していきたいです。

・急性期病院で働いているからこそ、改めて急性期の役割や加算について学ぶことができて良かった。
また、急性期は入院できる期間が短いからこそ、スピードなどが必要になってくると思うため、ただの調整屋にならないよう、本人や家族に対して丁寧な支援をしていきたいと思った。

・資料を通してわかりやすくとても勉強になります。ありがとうございます

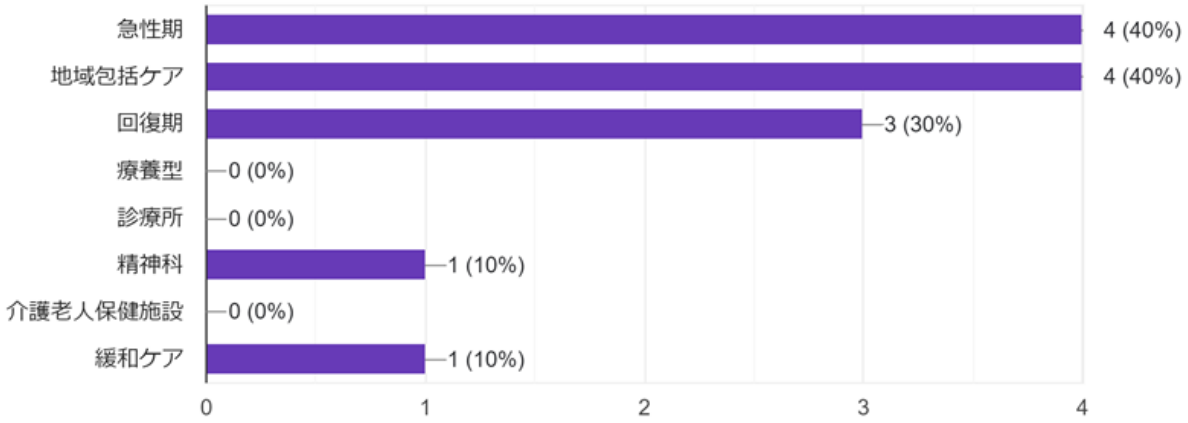
12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

・DPC

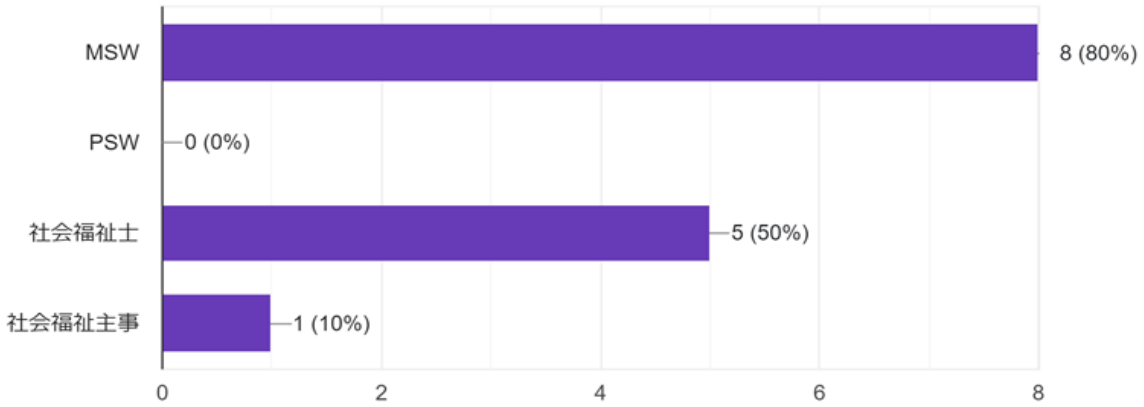
・在院日数の少ない急性期においてどのようなタイミングや方法で面接をしているのか、退院調整をどのように行なっているのか等急性期のMSWの具体的な業務内容が気になりました。

初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・回復期・地域包括ケア」
講師名：安慶名 真樹
研修日：2023年8月20日（日）
受講者数：　17名　アンケート回答者　14名

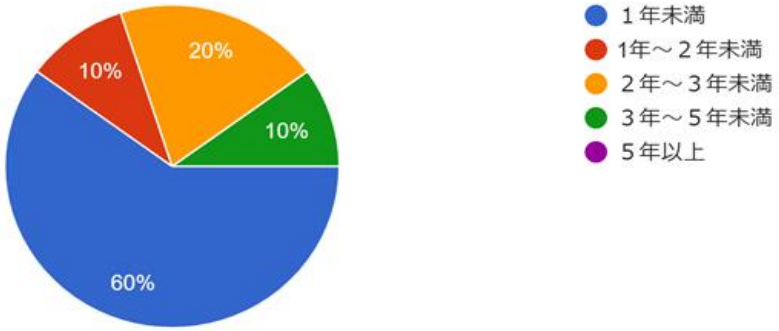
1．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
10 件の回答



2．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
10 件の回答



3．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。
10 件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

①回復期の特性　②回復期リハと地ケアの違い　③回復期リハの実践

①回復期の施設基準　②NASVAの介護給付金について　③ピアカウンセリングの効果

①回復期の病院の機能について　②地域包括ケアの病院の機能について　③回復期リハの対象者について

①緩和ケアの始まる時期　②スピリチュアルケア　③在宅も増えてきた

①回復期と地域包括ケアの違い　②受け入れる時の要件

③急性期のワーカーが気をつける事(入院日数の説明)

①回復期病棟基準　②実績指数39　③自宅退院が無理だと思っても諦めない

①回復期リハの施設基準　②包括ケア病棟の機能　③退院の支援役割まで

①回復期病院の役割　②地域包括ケア病院の役割　③各病院のMSWの役割

①回復期リハにおいてNs・Dr・リハの3職種が対象となる入院時訪問指導加算があること

②地域包括ケア病棟では自宅等からの受け入れが6割以上必要であること

③急性期や回復期は役割が比較的しっかりと決まっているが地域包括ケア病棟は受け入れの範囲が広いこと

①回復期リハビリ病棟の対象疾患の中での廃用症候群は入院前のADLの現在のADLが明らかに低下した状態の事を指すため、入院前の生活状況を把握しておくことが重要

②回復期リハビリ病棟ではリハビリでアウトカム評価が導入されたことにより、FIM点数からリハビリに効果がみられないと判断された場合は退院調整となる

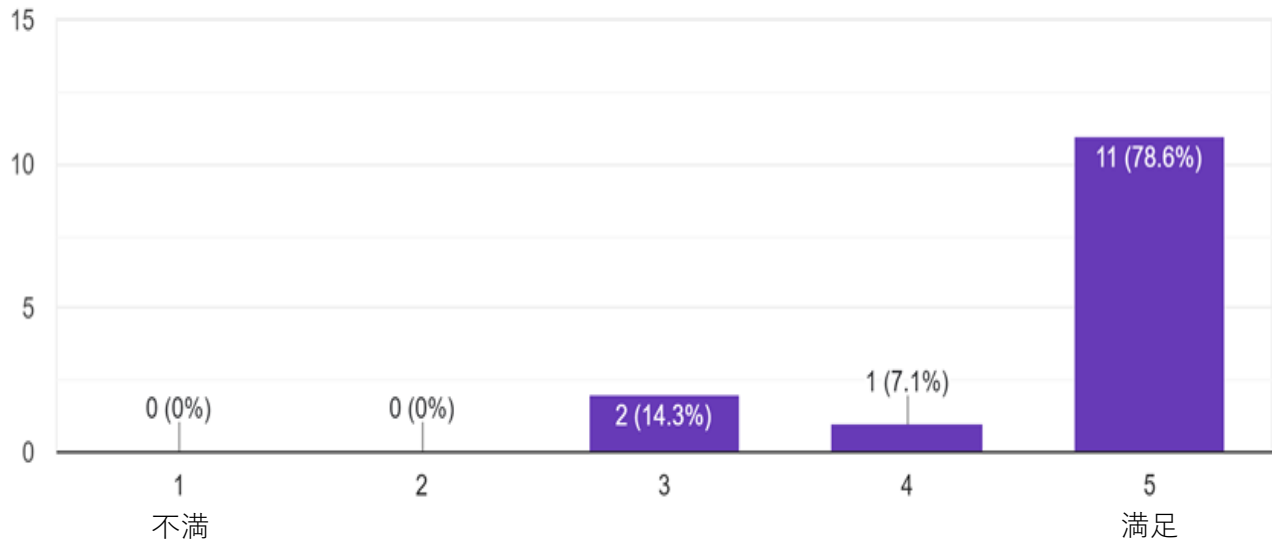
③リハビリを3単位とれるよう上手く進めるためには、患者本人が食事と睡眠がよく取れており排泄がよくできていることも大切

①回復期病院の役割　②回復期病院の加算　③地域包括ケア病棟の役割

①回復期病院の役割　②施設基準　③回復期におけるソーシャルワークの事例

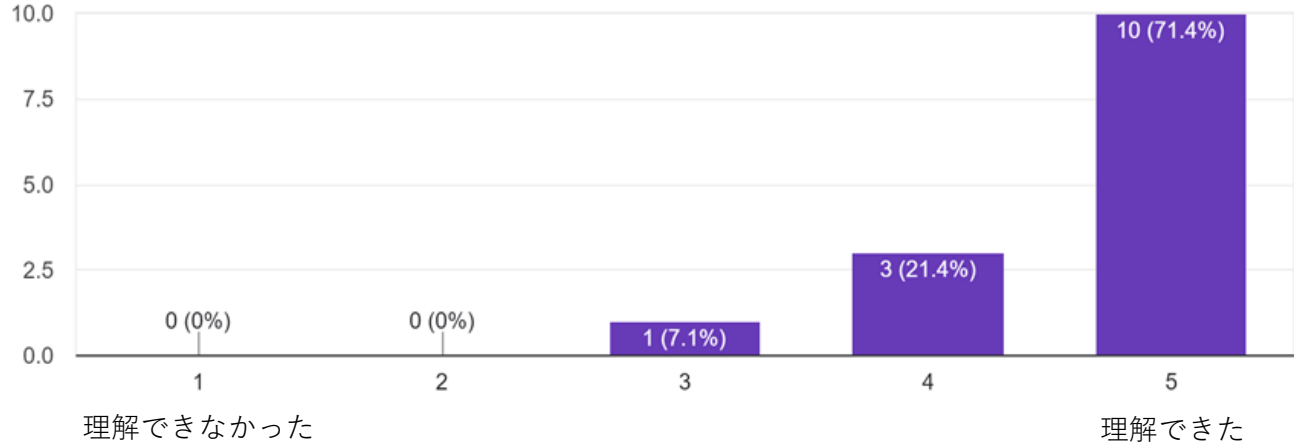
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14 件の回答



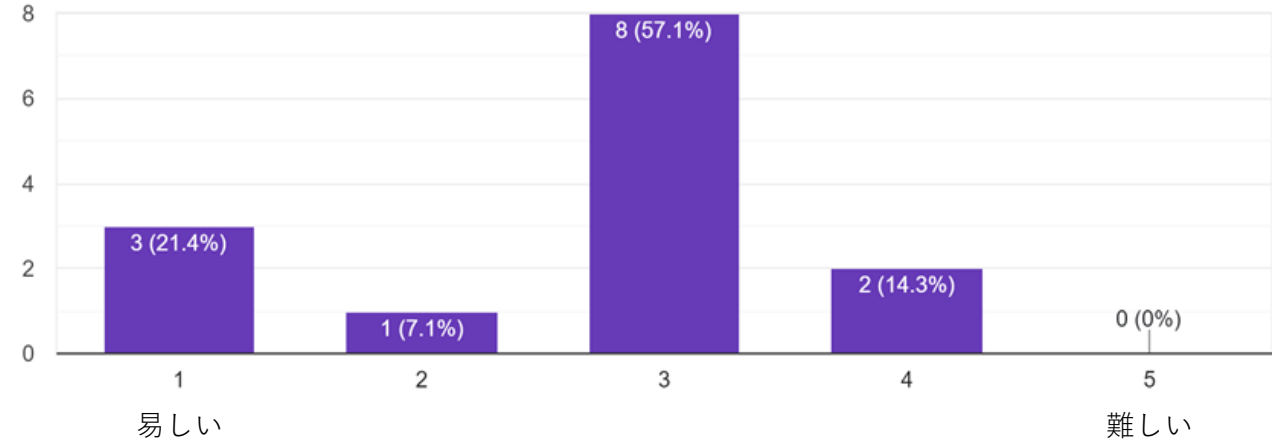
6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

14 件の回答



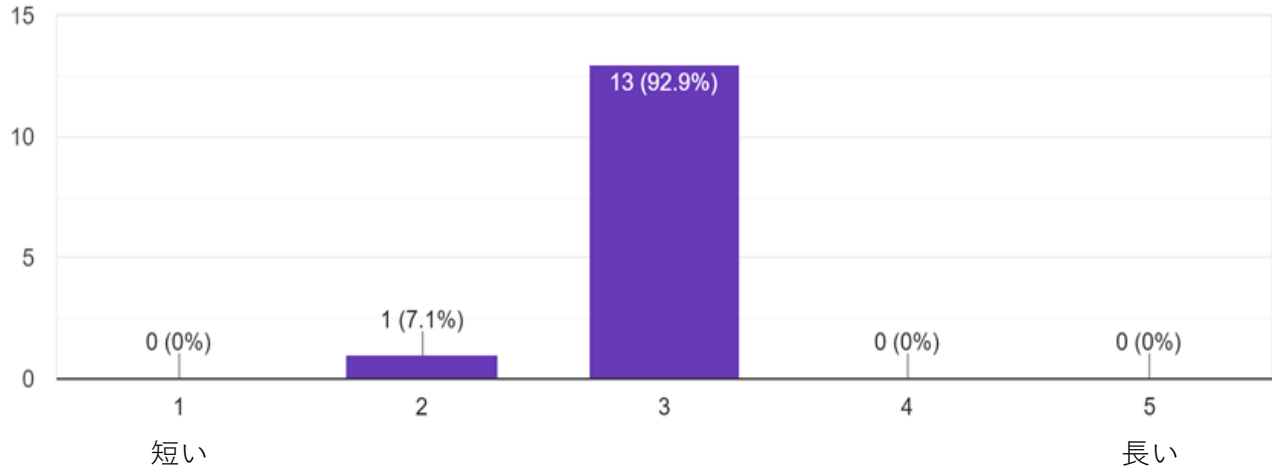
7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

14 件の回答



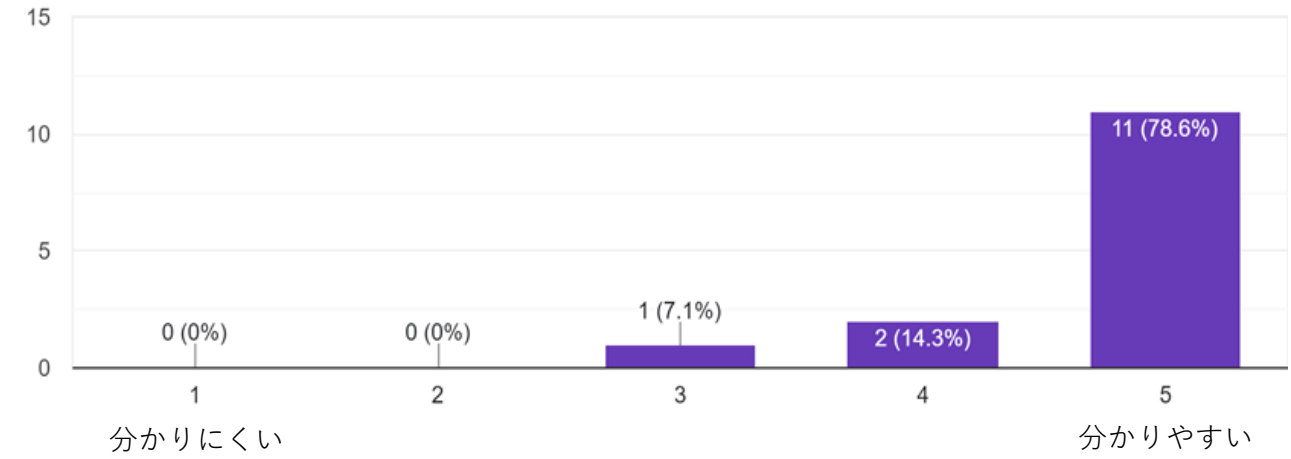
8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

14 件の回答



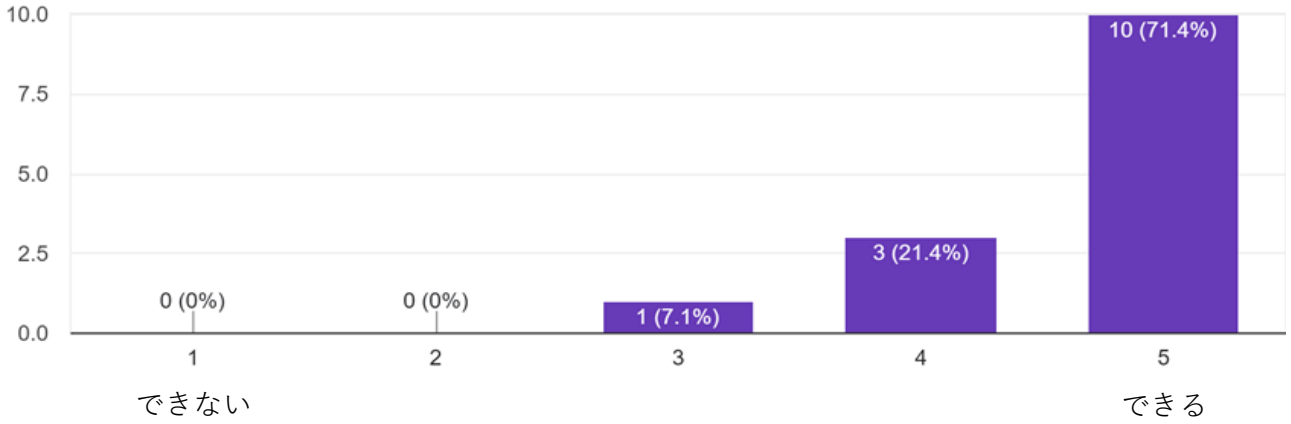
9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

14 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【５段階】

14 件の回答



11．本研修について具体的な感想・意見・質問をお聞かせください。

・回復期と地ケアの違いが良く理解出来た

・回復期MSWの実践を学べてよかった

・回復期や地ケアへの転院調整が始まってきたので、違いや受け入れるための注意点など勉強になる事が多く、実践でも応用したい。

・支援側の固定概念で退院が困難と決め付けず、皆さんで動かれたことがすごいと思いました。

・安慶名先生のお話を聞けて良かったと思います！ありがとうございました！

・とても勉強になりました。ありがとうございました。

・点数制度について詳しく理解できました

・回復期、包括ケア病院を深く理解することが出来ました。ありがとうございます

・地域包括ケア病棟の役割や機能について理解を深めることができました。また普段勤務している回復期病棟の基準や対象者についても改めて学び、実際の支援事例について知ることができて良かったです。

・地域包括ケア病棟の退院支援を担当しているため、今回とてもためになる講義でした。
また、回復期リハビリ病棟との違いもしっかり理解しておきたかったので、疾患別の入院期間やリハビリの算定から知ることが出来て良かったと感じています。

・急性期病院で働いていることから、回復期病棟や地域包括ケア病棟に転院の相談をすることが多いため、改めて役割や加算について学ぶことが出来て良かった。また、回復期病棟側の加算について深く考えたことがなかったため、調整がスムーズにいくような連絡を心掛けていきたいと思った。

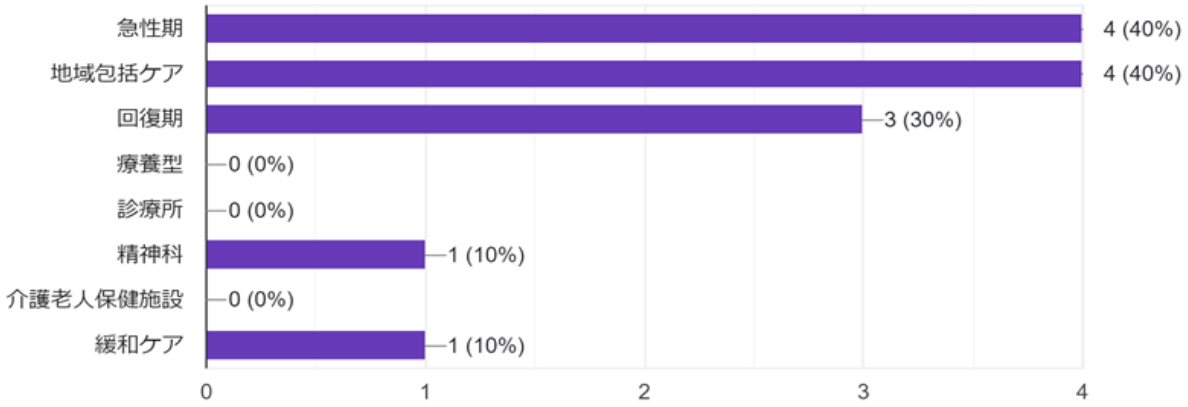
・回復期の病院基準のハードルが高く、かなり勉強しなければと感じました

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

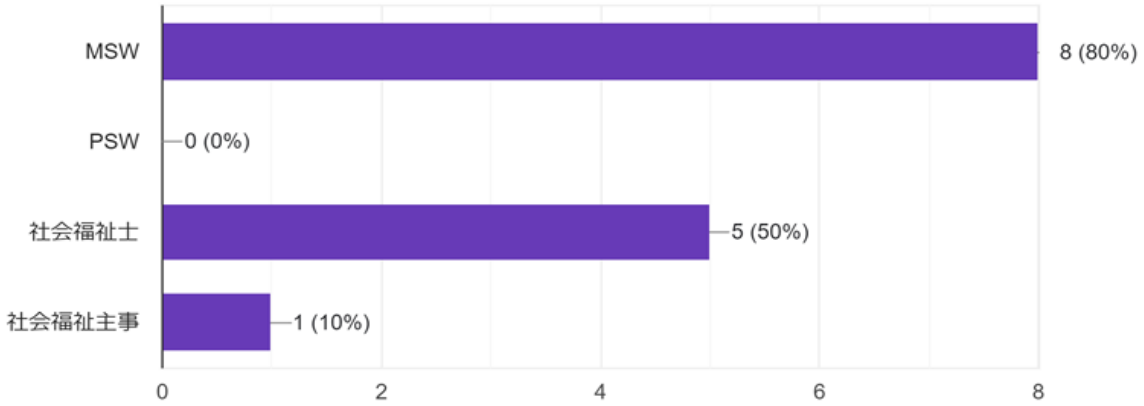
・同じテーマでもっと知りたい

初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・緩和ケア」
講師名：長　原野
研修日：2023年8月20日（日）
受講者数：　17名　アンケート回答者　10名

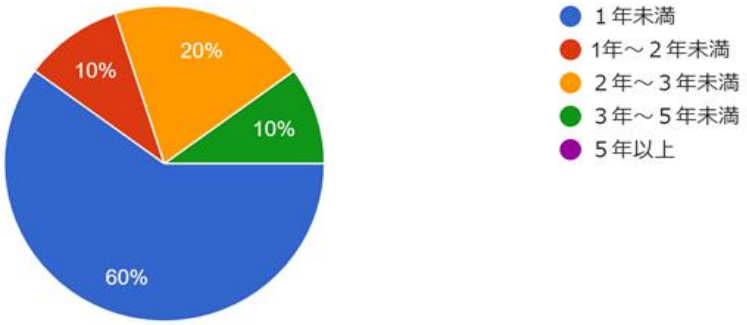
1．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
10 件の回答



2．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
10 件の回答



3．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。
10 件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

①緩和ケアを受ける時期　②スピリチュアルケア　③在宅も増えてきた

①緩和ケア病棟でのソーシャルワーカーのやりがい　②緩和ケアの概念　③緩和ケア病棟の基準

①ディグニティセラピー　②退院調整があること　③入院料

①緩和ケアの概念について　②緩和ケアの実態　③ソーシャルワーカーからみた緩和ケア

①緩和ケア病院の役割　②対象患者　③MSWの取り組み

①がんと診断された時から緩和ケアを受ける対象になること　、
②緩和ケア病棟の入院基準でおおむね予後が6ヶ月以内の方となっている
③本人や家族がどう思っているか医療者が良かれと思って提案していないか注意しないといけないこと

①緩和ケアの概念　②緩和ケア病棟の入退院基準　③緩和ケアのソーシャルワーク

①緩和ケアの定義→QOLの改善のために早期から積極的にアプローチする

②全人的苦痛→身体的な苦痛・社会的な苦痛・精神的な苦痛・スピリチュアルペイン

③スピリチュアルペイン→自己の存在と意味の消滅への悲嘆から生じる苦痛

①緩和ケア病棟には癌の診断がされていること急変時DNAR希望されていることなど入院基準があるが、
患者やその家族が退院希望されていることや3ヶ月以上安定した療養ができる状態など退院基準もあること
②身体的痛みだけでなく、精神的苦痛やスピリチュアルといったあらゆる痛みを和らげる目的があること
③本人の知る権利、または知りたくない権利の尊重、その意志が共有されているかどうかを把握すること

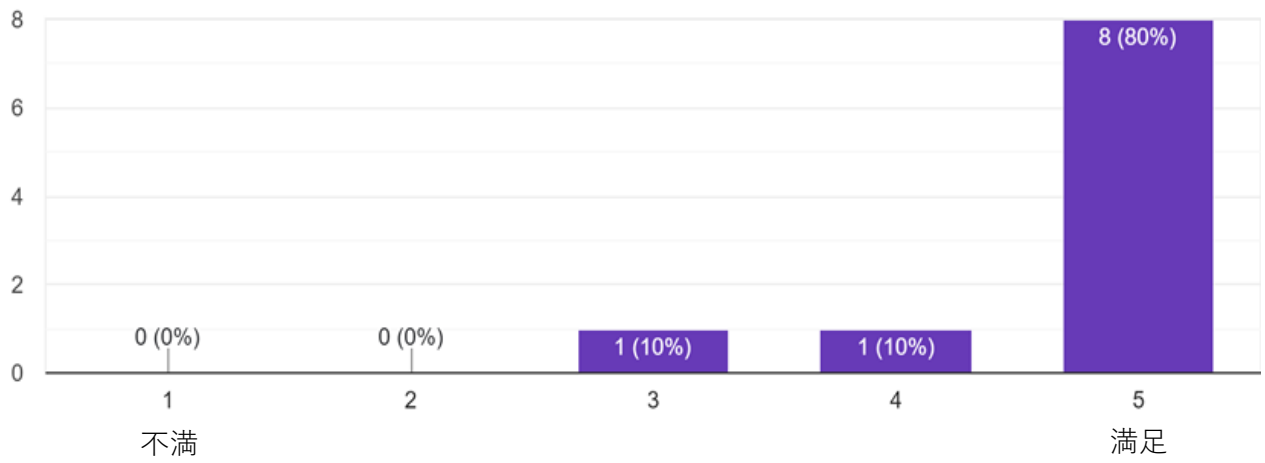
①緩和ケア　②理解してくれる人になること　③苦しむ人がいることを理解すること

①緩和ケアの概念　②権利の尊重　③スピリチュアルペインの重要性

①緩和ケアの関わり方　②スピリアルケア　③ディグニティセラピー

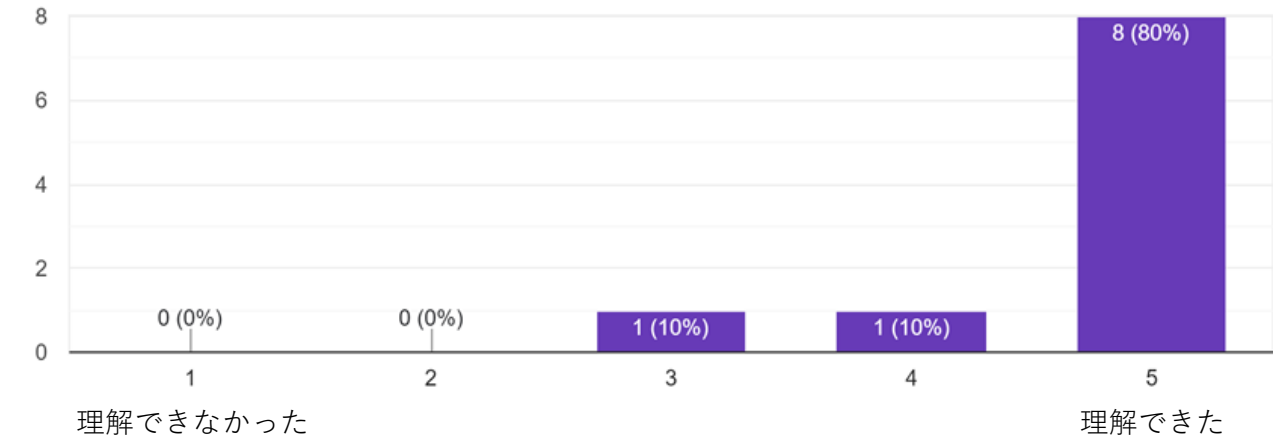
5．講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

10 件の回答



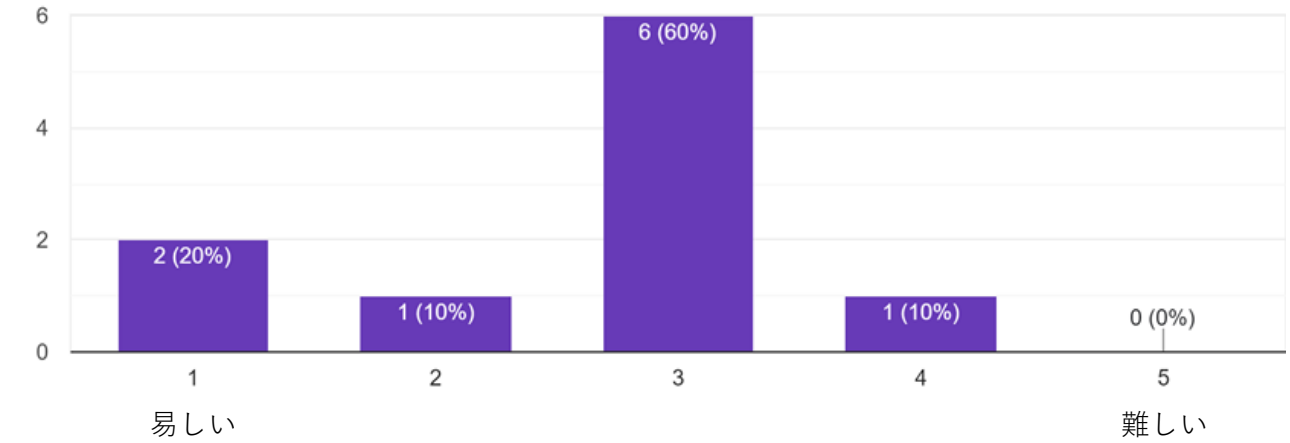
6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

10 件の回答



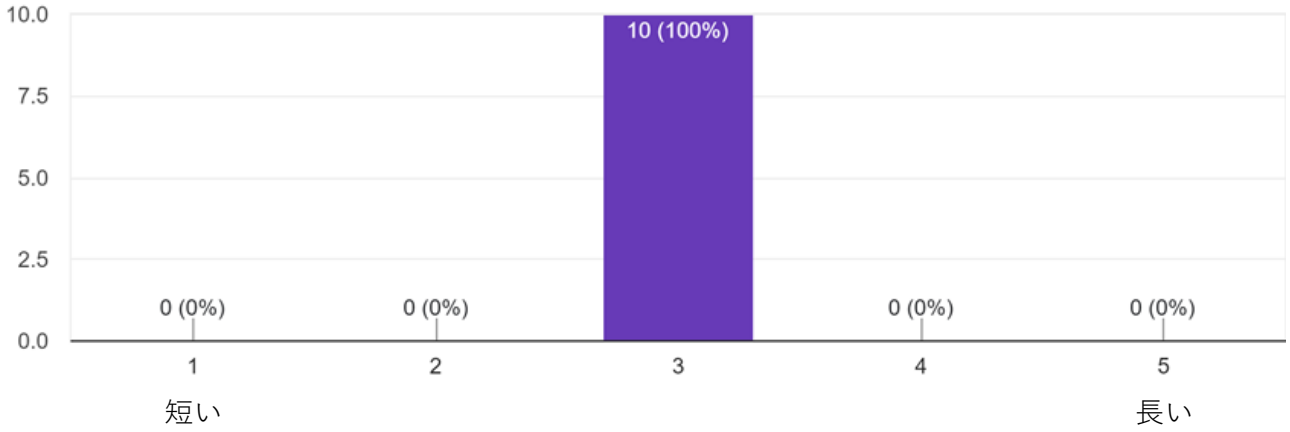
7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

10 件の回答

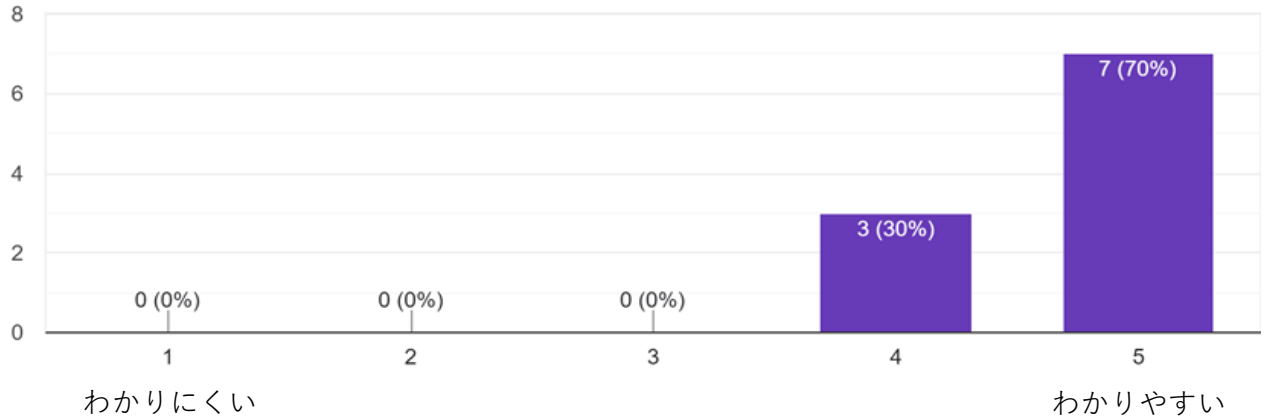


8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

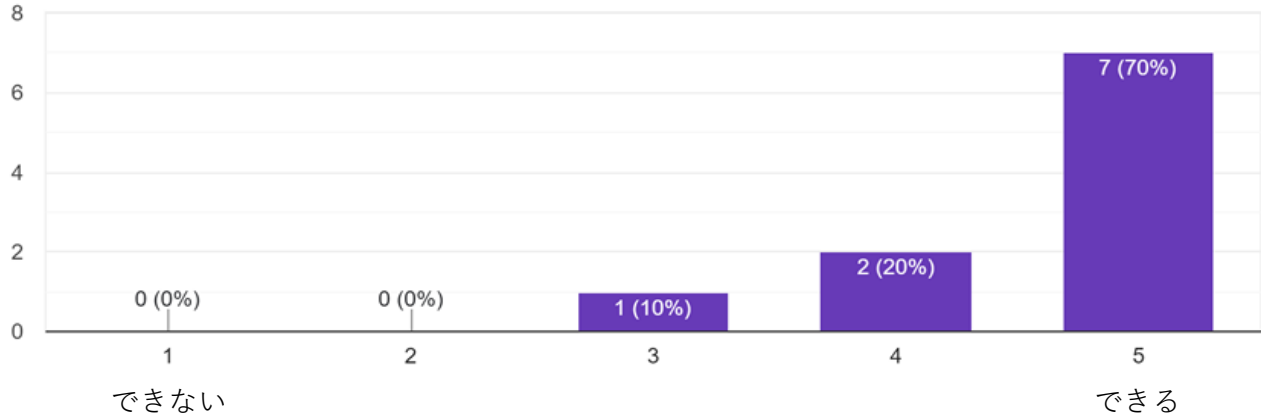
10 件の回答



9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】
10 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。 【５段階】
10 件の回答



11．本研修について具体的な感想・意見・質問をお聞かせください。

・緩和ケアを受ける時期が癌と診断された時という概念は正直自分の中になかったので驚きだった

・実際に勤務されていた内容等お話いただいたので、とてもわかりやすかった。辛いイメージだけではなく、最後まで患者の気持ちを尊重する大切さを感じた。

・ディグニティセラピーを詳しく調べようと思った

・緩和ケアについて理解が深まりました。ありがとうございます

・なんとなくで把握していた緩和ケア病棟について学ぶことができてよかったです。緩和ケアだと、看取りまでというイメージでしてが、退院支援もあるということを知ることができました。

・時々、緩和ケア病棟へ転院調整をすることから、緩和ケア病棟の役割や支援について学ぶことができて良かった。緩和ケア病棟と聞くと、最期に近いイメージがして、支援も難しくなってくると思ったが、他の病棟と同じように丁寧な支援を行うことに変わりはないと感じた。

・今回の講義を受講するまで、緩和ケア=がんの積極的治療ができなくった方が受けるものだと思っていたが、がんと診断された時から始まるものだということを知ることができた。

・職場の病院にも緩和ケア病棟と緩和ケア外来がありますが、どういった目的でどのように支援していくのかについては今回の講義で初めて学びました。全人的な痛みのうちスピリチュアルペインというものがありましたが、

そのケアのためにキリスト教の考え方が使われるのだと感じました。

・緩和ケアの始まりが癌と診断された時、というのは自分の中にそういう概念がなかったので驚きだった。

・わかりやすい資料で、実践にすぐ役にたちそうです。

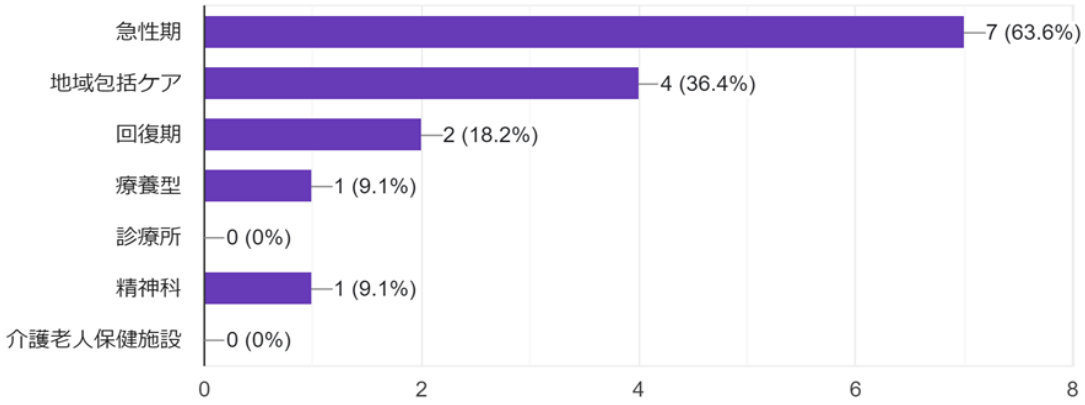
・長先生のお話を聞けてよかったです！ありがとうございました！

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

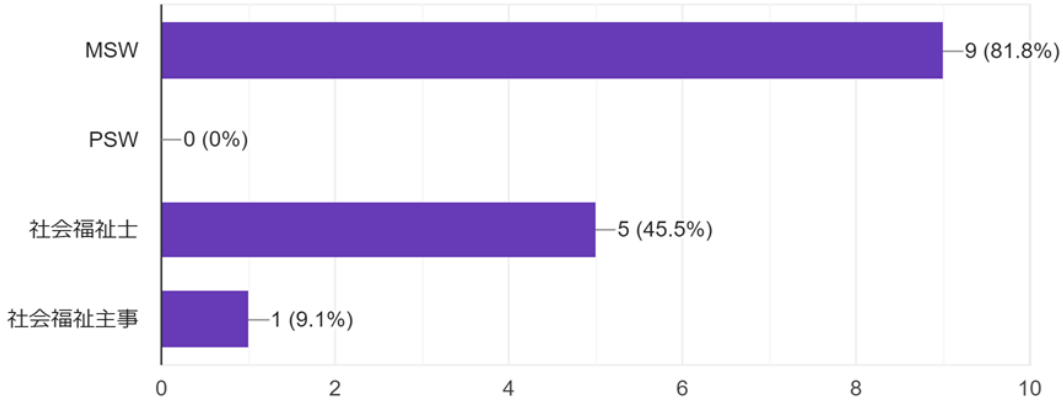
・特になし

初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・精神科」
講師名：知花 勉
研修日：2023年8月20日（日）
受講者数：　17名　アンケート回答者　11名

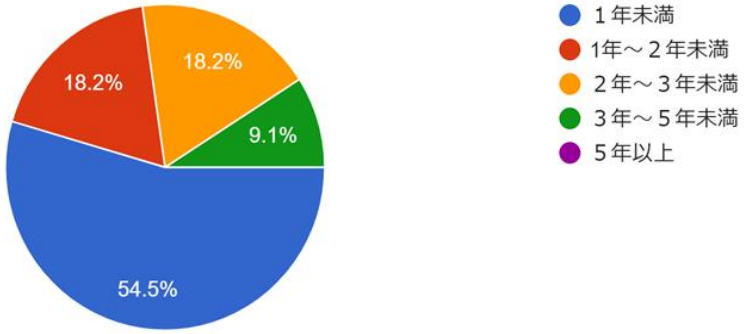
１．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
11 件の回答



２．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
11 件の回答



３．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。
11 件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

①精神科急救について　②各種入院形態　　③統合失調症について

①精神科病院の機能　②入院の形態　③統合失調症について

①精神科病棟で40年入院していること　②昔はデイナイトケアがあったこと
③家族等の範囲に本人に虐待をしているものが追加されたこと

①精神科病棟の機能について　②精神科の入院について　　③精神科におけるアセスメントについて

①精神科救急について　②入院形態について　　③退院支援について

①精神生活病棟の対象者　②コロナ禍後の現状　③介入方法

①精神科病院の役割　　②対象患者　　③MSWの役割

①精神科に入院形態として4種類あること
②精神科救急病棟の場合6割以上は3ヶ月以内に自宅等に退院するという要件があること
③医療保護入院の場合三親等内の家族もしくは市町村長の同意で入院できること

①精神科病院の役割　　②精神科の入院形態　　③アセスメントとケースマネジメント

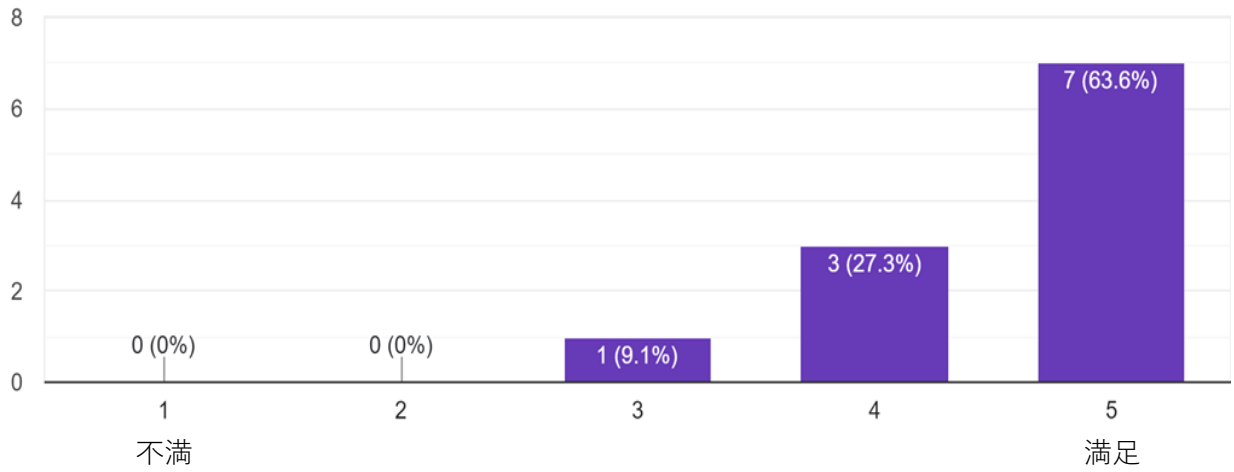
①精神科救急病棟の基準→入院患者の6割以上が非自発的入院であること
②医療保護入院の家族等に、本人を虐待を行っている者は同意者になれない(今年度から追加)
③支援をする中で「生活者」であることを意識する

①精神科の入院形態は、本人の同意があるか、家族の同意があるかによって異なり、また同意できる家族も精神保健福祉法によって決められていること
②本人に虐待を行っている者は同意者になれないこと
③精神科の機能。入院形態。アセスメントの重要性

統合失調症の主な症状、また治療により回復が可能であること

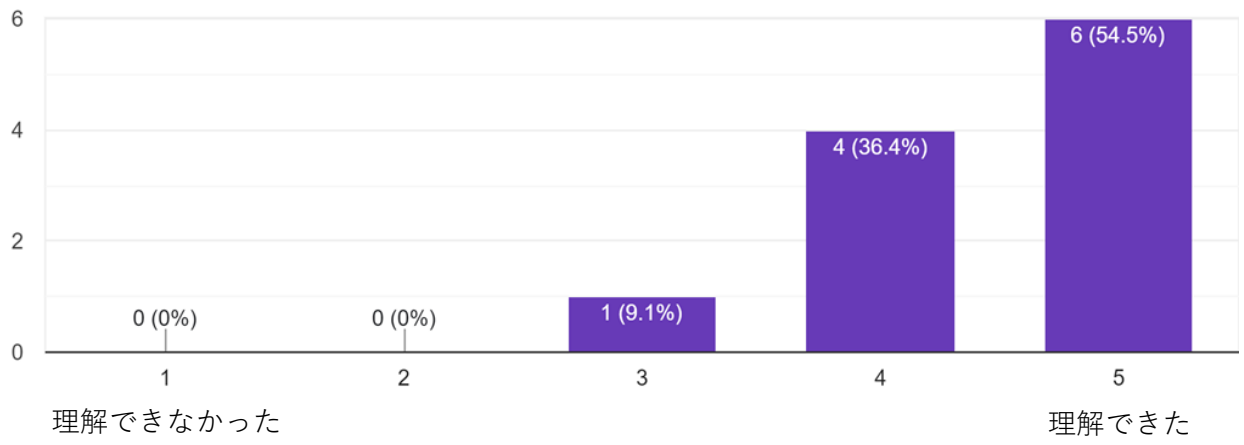
5．講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

11 件の回答



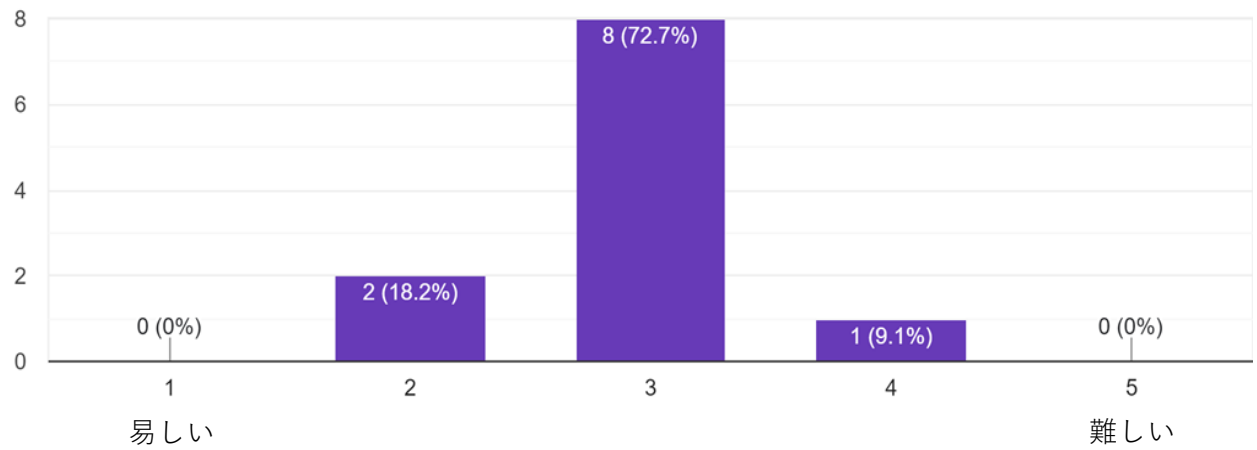
6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

11 件の回答



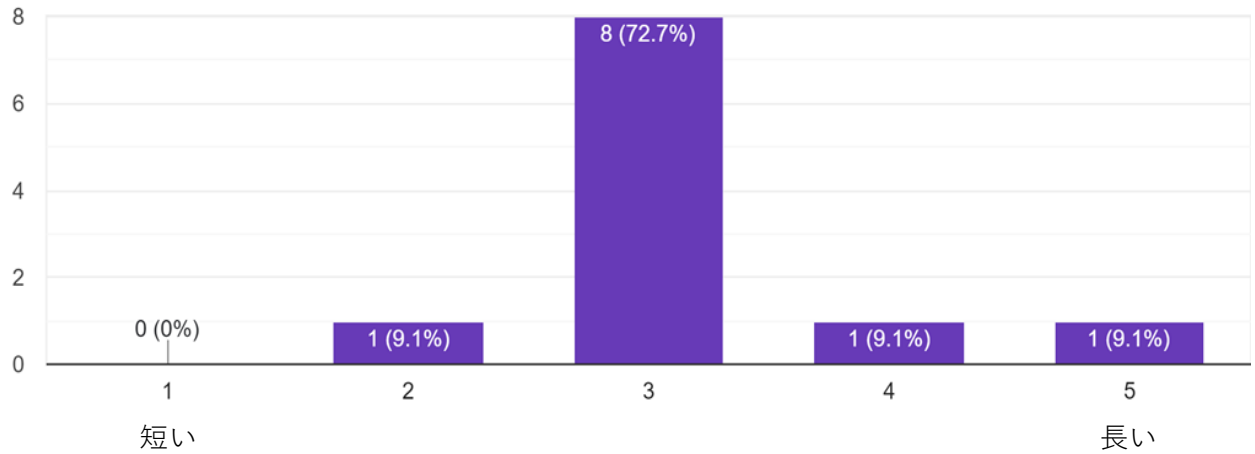
7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

11 件の回答



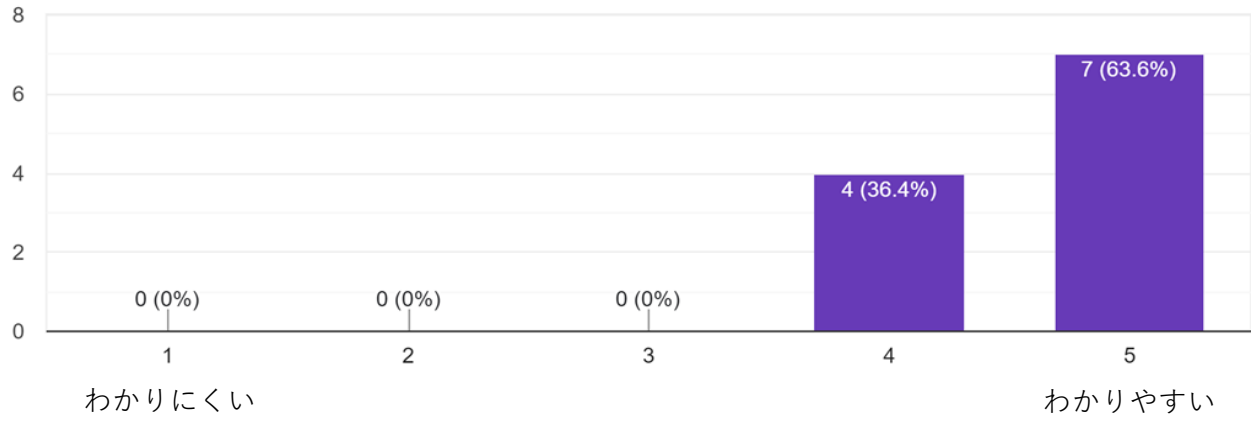
8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

11 件の回答



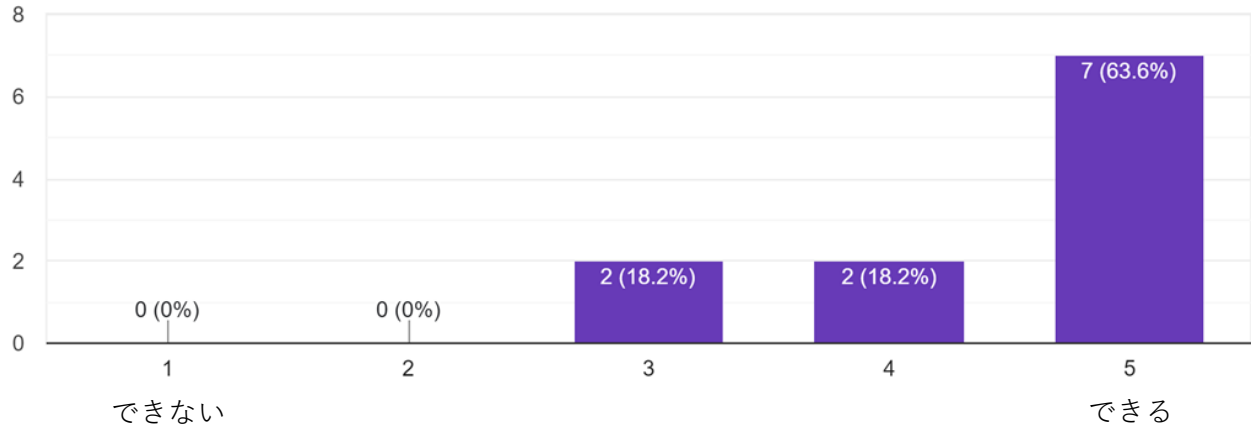
9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

11 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。 【５段階】

11 件の回答



11. 本研修について具体的な感想・意見・質問をお聞かせください。

・事例を聞いた際、本人の過去を知る事で病気の背景を理解できて適切な支援に繋げられることを感じた。生活としての視点をもち、この人の生活がどうしたら楽しくなるのかという考えも、つい忘れがちですがSWにとって大切だと感じた。

・処置入院の具体的例を知りたい

・精神科病棟でも、長年入院している人はいるんだなと感じました。寄り添うことの大切さを知りました。

・精神科病院でのソーシャルワークを学べてよかった。

・事例を交えて介入の難しさや困難さを知る事ができとても勉強になりました。ありがとうございました。

・精神科病院について、理解が深まりました。ありがとうございます

・PSWからMHSWへ名称が変わったことを初めて知った。また、新垣病院では長くて40年以上入院されている方もいるとのことで、思っていた以上に入院期間が長く長期的に支援が継続することを知り愕きました

・時々、オーバードーズなどの依頼を受け、精神科病院に転院調整をしている先輩方を見たことがあるため、精神科病院の機能について知ることが出来て良かった。また、精神科病院に関わらず、本人の背景を理解したり、偏りのない視点で支援したりすることが大切だと改めて分かったため、念頭に置きながらこれから仕事をして

いきたいと思った。

・精神科は、精神保健福祉法にのっとった入院になるため、患者の人権を侵害しないように配慮する必要があることが分かった。

・精神科病棟担当の相談員が書類の準備をしている理由が、精神科の入院形態に違いがあることであるのが今回わかりました。今まで精神科患者との関わりがほとんどなかったため、今の職場になってからどう関われればよいかわからない部分もあります。私が現在退院支援を行っている患者(80歳女性、要介護5)の家族(娘50歳)が統合失調症を持っているケースがあります。「母の四肢は拘縮じゃなくて病院スタッフがワイヤーで手品をかけている」といった趣旨の発言をされ、どう声かけすべきか困ったことがありました。病状としては落ち着いていますがまた同様な発言があった場合の対応があれば教えていただきたいです。

・精神の患者様の入院が増えている中、対応例などがお聞きできて勉強になります

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

・長期入院の方の病院での生活について知りたい。

・身寄りなしの支援における社会資源について学びたい

初任者研修　アンケート

研修科目：初任者研修 「実践に必要な制度①生活保護」

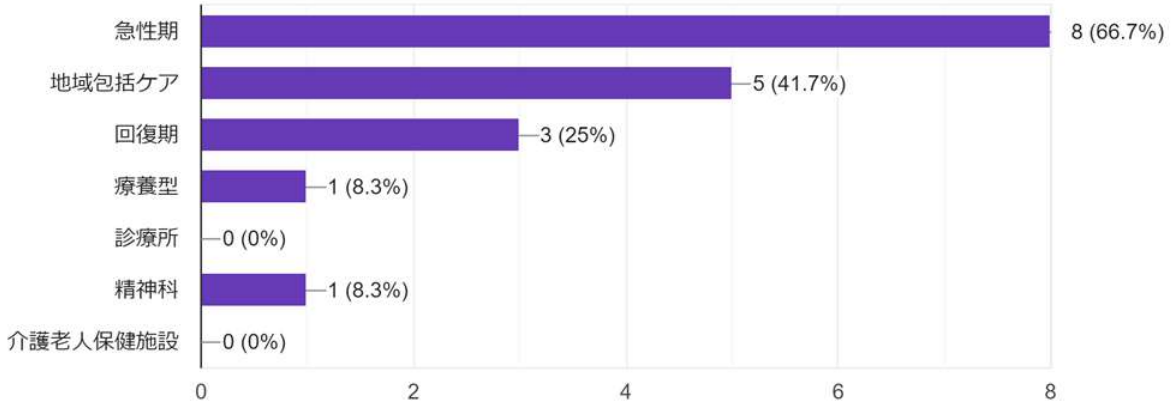
講師名：高江洲　あや子

研修日：2023年8月20日（日）

受講者数：　17名　アンケート回答者　12名

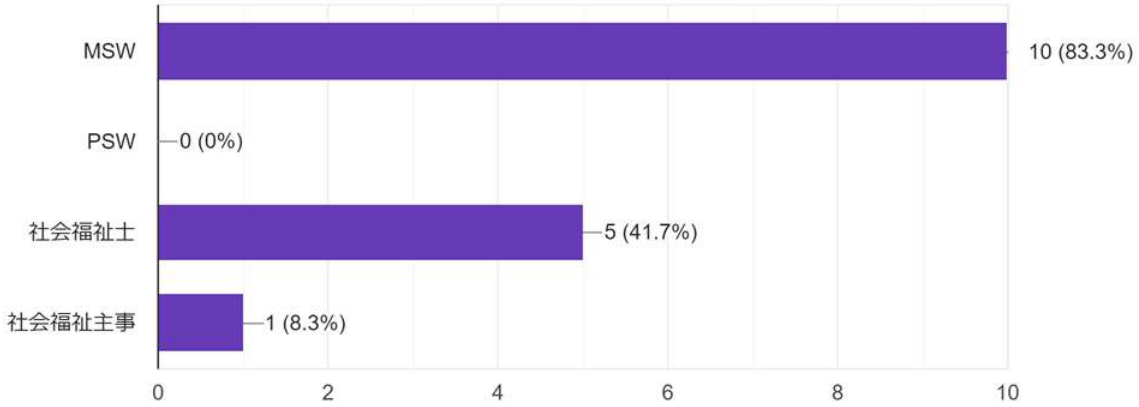
1．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

12 件の回答



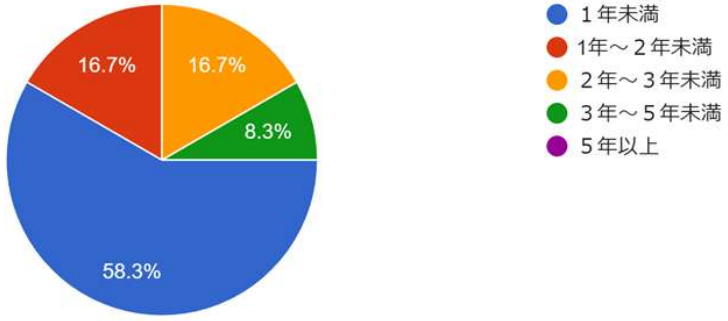
2．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

12 件の回答



3．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

12 件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

①生活保護の原理・原則　②権利と義務　③置かれている状況を確認する

①生活保護の基本原理・原則　②8つの扶助　③被保護者の権利と義務

①生活保護の原則　②別冊問答集について　③グループワークを通して各々の視点の違い

①保護の原則　②権利と義務　③生活保護手帳の見方

①生活保護法は憲法に直結した生命を守るために重要な法律
②生活保護は、福祉事務所に申請書だけでも申請ができる
③1ヶ月以上の入院者・施設入所者は、生活扶助基準が在宅基準から入院基準へ変更となる

①生活保護に置かれた人たちの状況について　②生活保護制度について
③生活保護の相談を受けたときに大事なこと

①生活保護　②生活保護手帳　③グループワーク

①生活保護受給　②生活保護法　③利用者の権利擁護

①生活保護の申請手続き　②生活保護手帳　③保護の基本原則

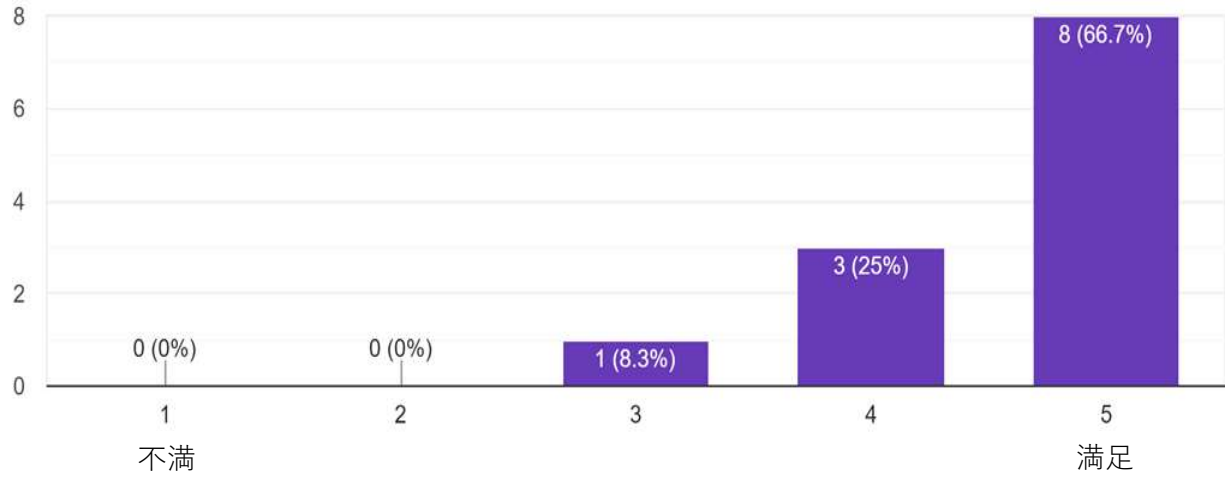
①沖縄県は全国と比較すると生活保護の受給率が高いこと
②1ヶ月以上入院、入所になった方は生活扶助基準が在宅基準から入院基準へ変わること
③入院期間が長期になったからといって世帯を変更する必要はないこと

①生活保護制度の内容　②生活保護制度の原理と原則　③生活保護手帳

①保護申請後の調査の中で扶養義務に関する調査では、職権で家族の住所を調べて調査書を送ることができること
②保護受給者が1ヶ月以上入院したり施設入所すると、生活扶助基準が変更すること
③市町村の保護課または福祉事務所とのやり取りの際、生活保護手帳と別冊問答集が法の根拠として活用できること

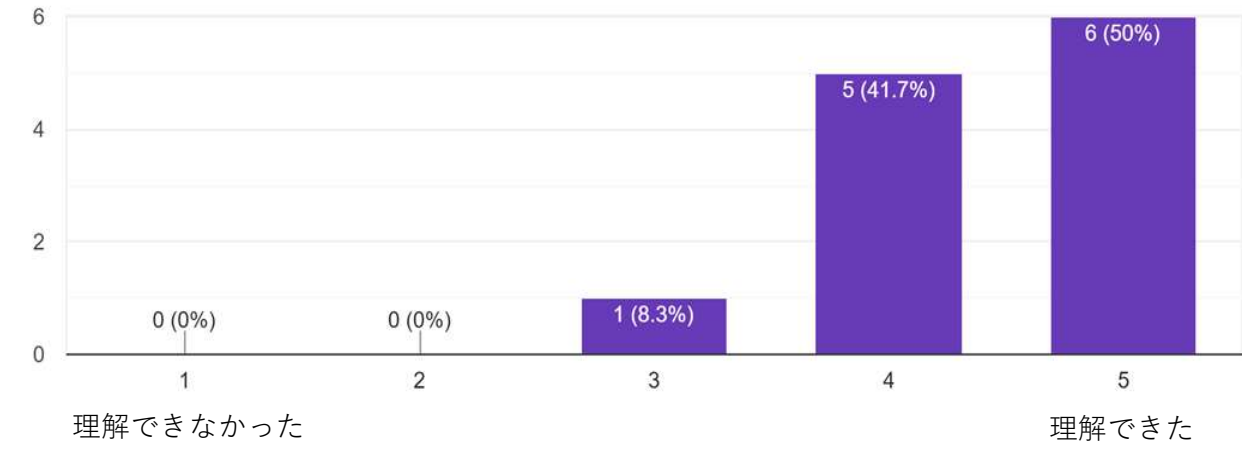
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

12 件の回答



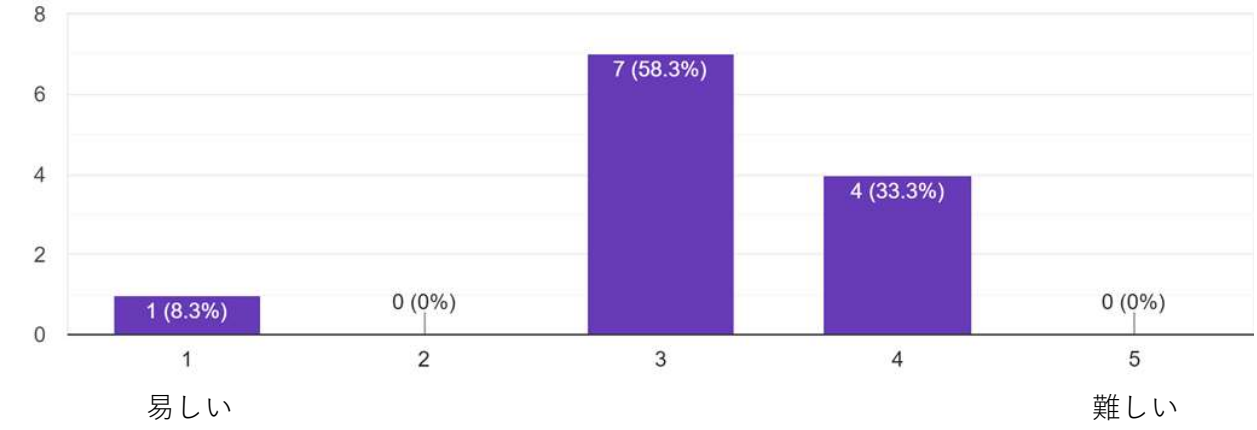
６．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

12 件の回答



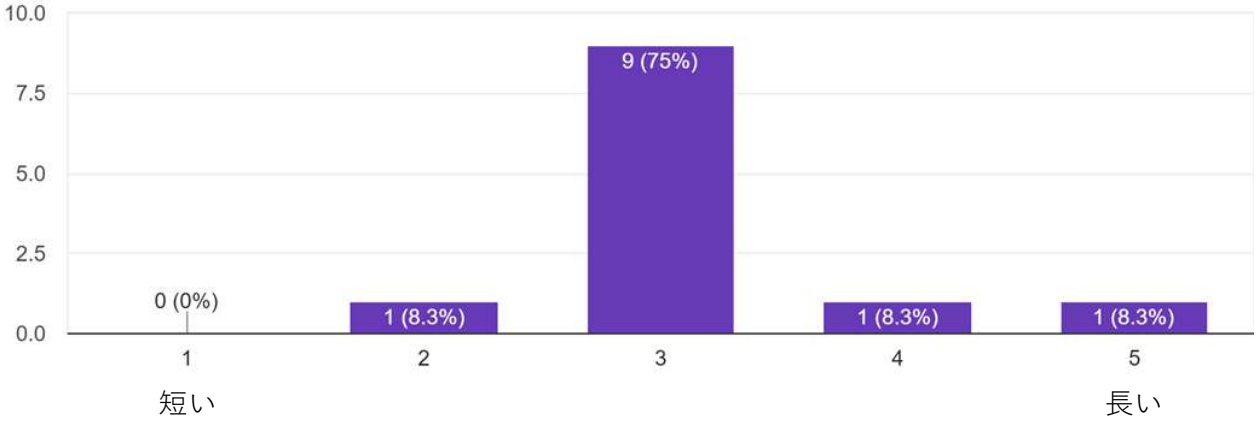
７．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

12 件の回答



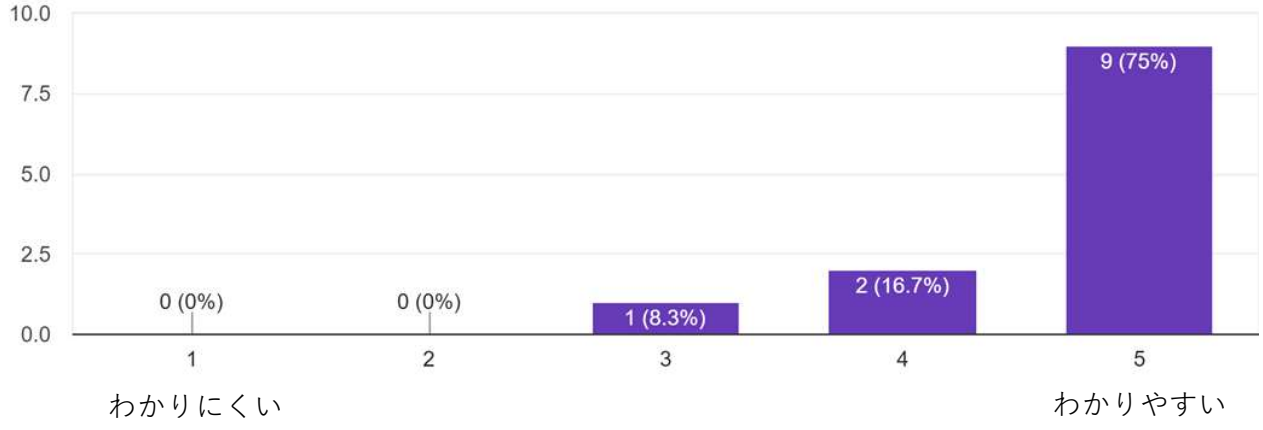
８．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

12 件の回答



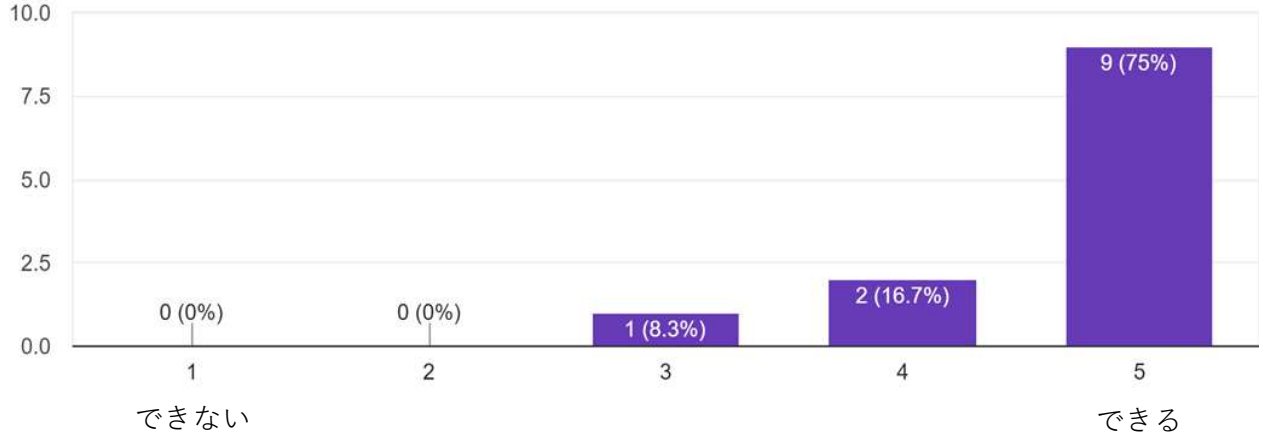
9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

12 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。 【５段階】

12 件の回答



11．本研修について具体的な感想・意見・質問をお聞かせください。

・グループワーク・他グループの発表を聞いて自分とは違う視点の考え方を聴けたのが凄く勉強になった。置かれている状況の確認項目はこんなにもあるのかと驚いた。

・生活保護についてもっと時間をかけて、詳しく学びたい

・職場にある別冊問題集の内容確認しようと思った

・1カ月以上の入院や施設入所の方の生活扶助基準が22,680円に変わる点、生活保護手帳の質問事項 は勉強になりました。

・生活保護は最後のセーフティーネットであるが、中にはマイナスなイメージを持っていて、受給を拒否する患者さんもいる。その時に保護を利用することでのメリットであったり、ほかに利用できる制度がないか一緒に検討することも大切だと思った。 そのためには、MSWとして知識を身に付ける必要があると思った。

・生活保護について勉強になりました

・生活保護について了解が深まりました。ありがとうございます

・実際に保護申請まですることがなかったので、とても勉強になりました。

・明日の勤務時、まず生活保護手帳・別冊問答集が置かれているか確認したいと思います。
判断に迷った時はその内容確認し、しっかり根拠を持って案内や交渉できるようにします。

・国試勉強で生活保護について勉強したが、所々記憶から抜けている部分があったため、復習になり良かっ
また、生活保護手帳というものがあると初めて知り、制度をきちんと知っていることで、公的機関に相談をする
とや患者さんから相談を受けることができると感じたため、一度読んでみたいと思った。

・生活保護による課題は退院支援の中でも大きく関わるので、担当ケースワーカーとのやりとりを円滑に進めら
れるように今回学んだ内容は覚えておきたいと思いました。特に生活保護手帳と別冊問答集は
これまで一度も使ったことがなかったため、職場にあれば活用したいがなければお取り寄せできるよう相談したい。

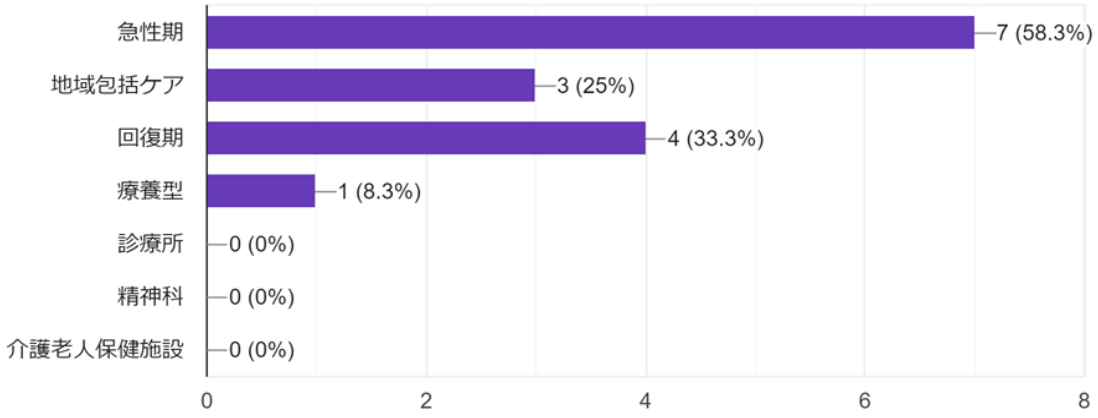
12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

・事例等も伺いたい

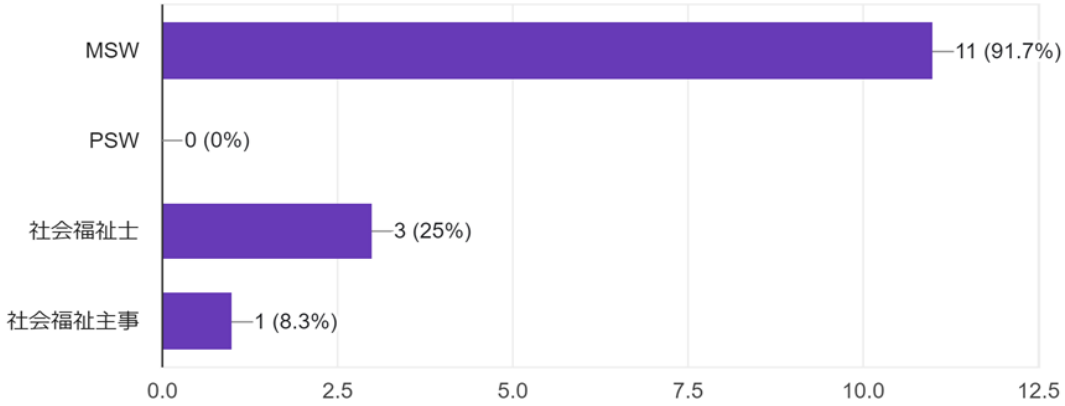
・身寄りない患者さんへの環境調整について学びたい

初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修 「医療保険」
講師名：喜舎場　利恵
研修日：2023年8月20日（日）
受講者数：　17名　アンケート回答者　12名

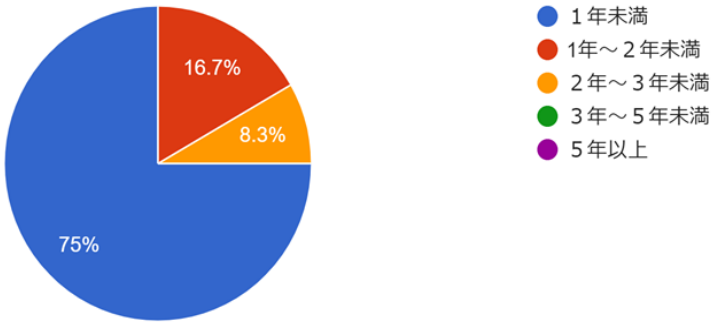
1．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
12 件の回答



2．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。
12 件の回答



3．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。
12 件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

①医療保険制度　②高額医療費制度　③医療保険制度の違い

①医療保険の種類　②末期がんの時に使える社会資源　③高額療養費制度

①医療保険　②高額医療費制度　③各種支援制度

①生活保護の基本原理　②補足性の原理　③被保護者の権利と義務

①高額療養費について　②給付の種類について　　③高額貸付制度について

①国民健康保険の注意点　②自己負担限度額　　③事例

①高額療養制度のついて　②高額療養の手続きについて　③社会資源の情報提供について

①高額療養費の自己負担限度額　②国民健康保険組合　③療養費払い

①70歳以上の国民健康保険加入者が高額貸し付け利用できないこと
②貸し付け利用する場合1医療機関が限度額超えていないと利用できないこと
③協会けんぽの高額療養費の通知がだいぶ遅くに届くこと

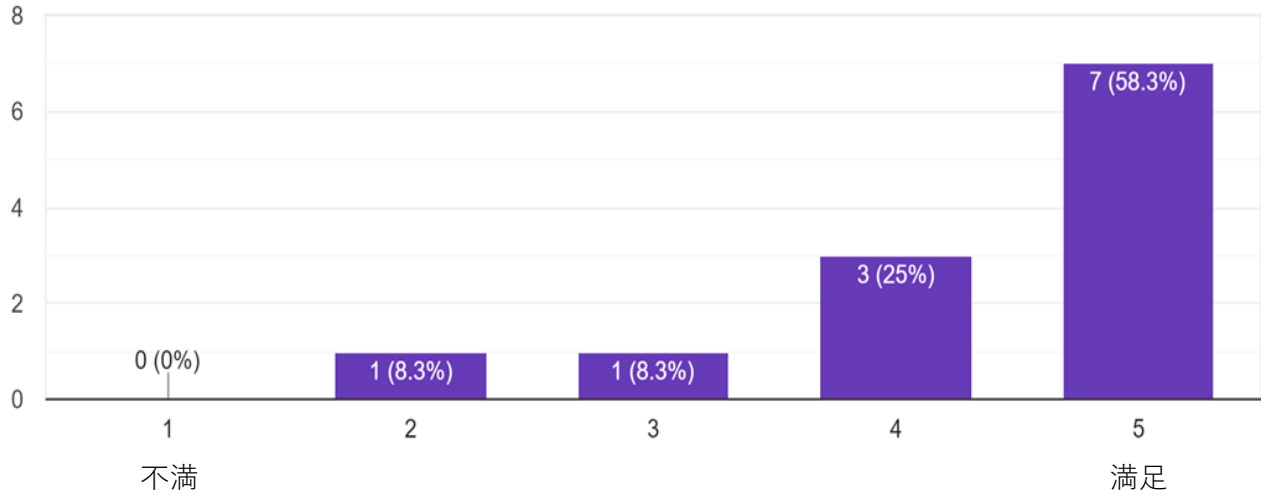
①医療保険は医療給付と現金給付の大きく分けて2種類の給付があること
②70歳未満の高額療養費について、一方が限度額以上、もう一方が21,000円以上の場合は合算して払い戻しを受けられること
③国保で高額貸付を利用した場合保険者から病院へ直接医療費が支払われること

①医療保険の制度や給付の種類　②高額療養費　③高額貸付制度

①医療保険の制度　　②限度額　　③外来入院でのMSWの役割

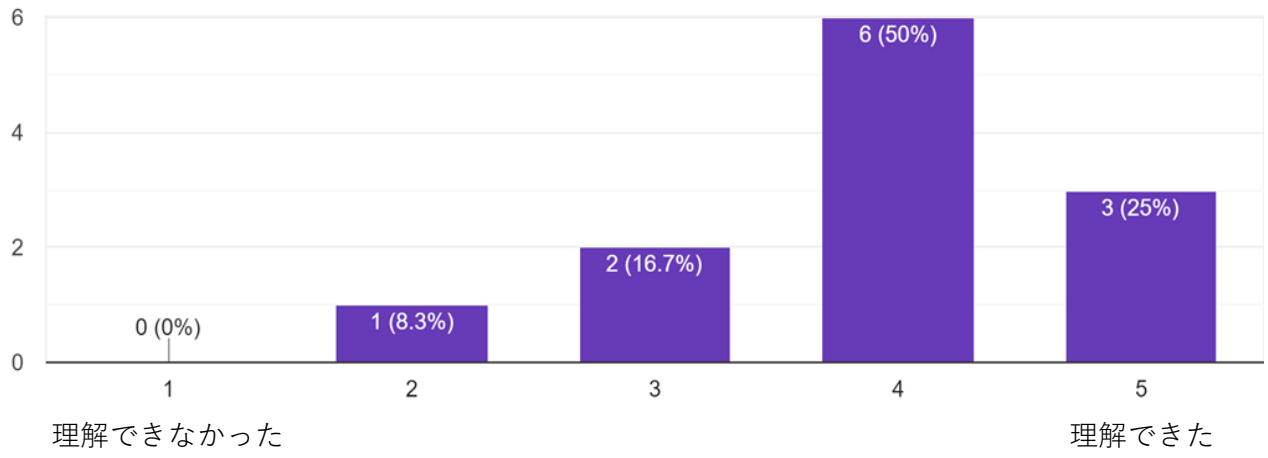
5．講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

12 件の回答



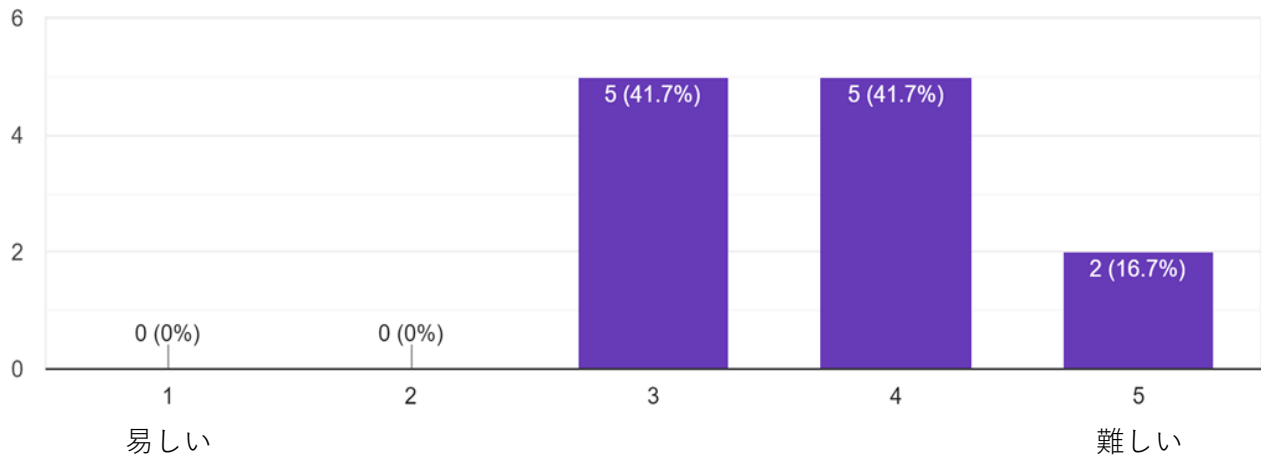
6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

12 件の回答



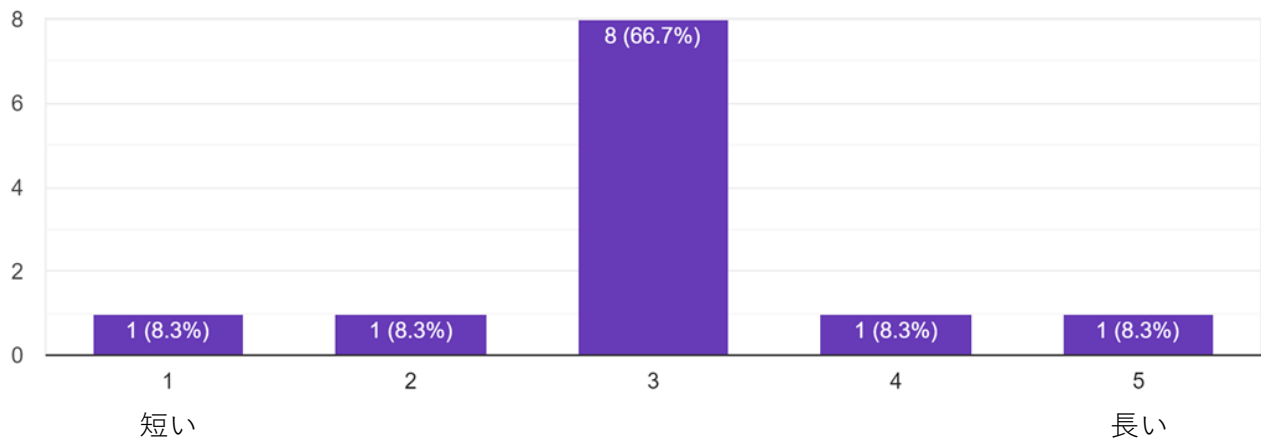
7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

12 件の回答



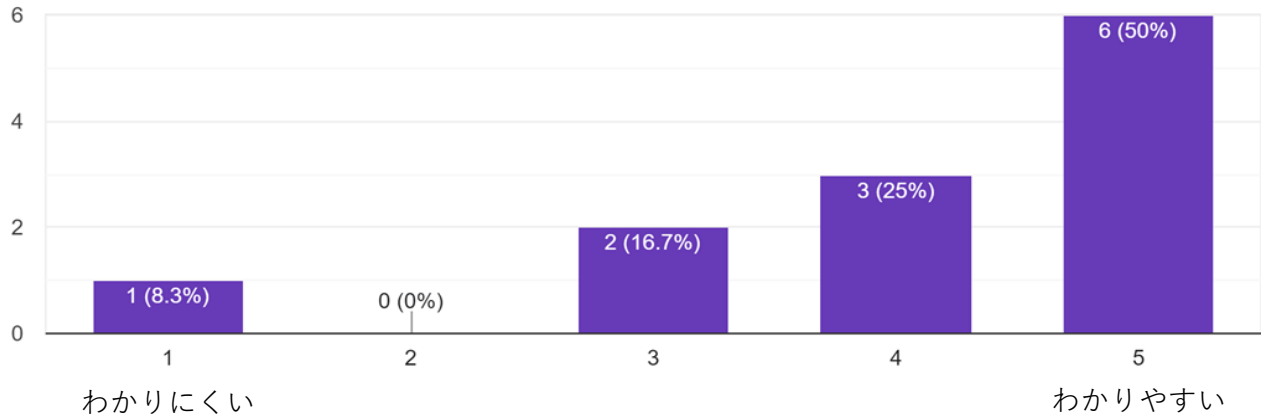
8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【５段階】

12 件の回答



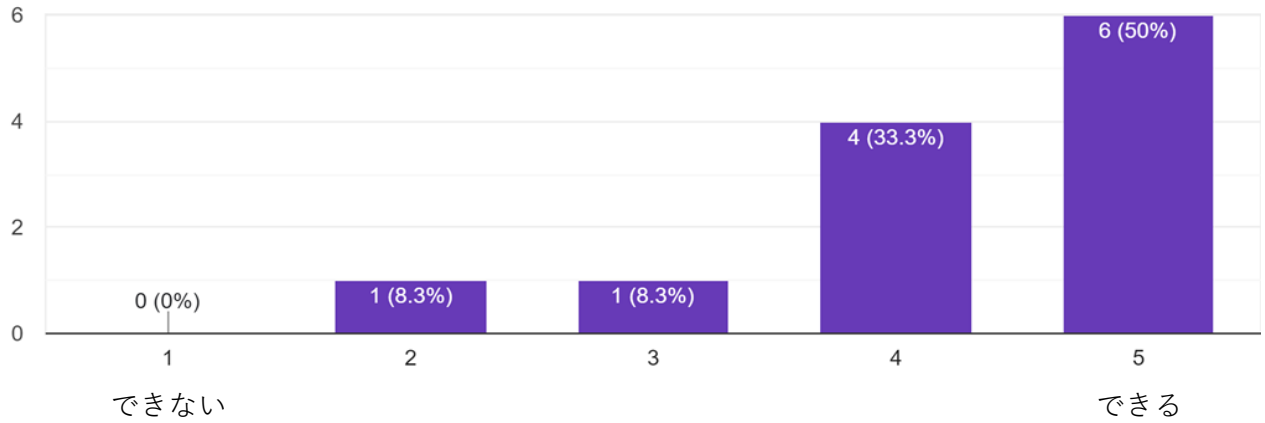
9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。 【５段階】

12 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。 【５段階】

12 件の回答



11．本研修について具体的な感想・意見・質問をお聞かせください。

・自分の勉強不足なので、もっと基本から勉強したいです。

・知識が乏しく理解がしづらかった。もう少し初歩的な説明があると、ありがたいです。

・医療保険について理解することが出来ました。ありがとうございます

・生活保護についてわかっているようであまりわかっていないことが判明したのでもっと勉強したいと思いました。

・高額療養費や貸付制度について詳しく勉強しようと思った

・回復期ではあまり説明することがないのでもし聞かれた時のために勉強しておこうと思いました！

・医療保険のことはほぼ無知に近いので、少しでも知るきっかけになってよかったです！

・経済問題の質問が多いので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・業務の中で医療費についてほとんど説明する場面がなかったため、今日の講義でとても勉強になりました。
また復習し、しっかり説明や提案ができるようにしたいと思います。

・本人や家族さんに高額療養費の説明をすることがよくあるため、改めて学ぶことができて良かった。
高額貸付制度や合算についてはまだまだ知識が足りていなかったため、相手に説明できるよう家でも勉強しようと思った。また、事例検討を少し行ったが、MSWとして本人や家族に何を確認するかはなんとなく思い付いたが何の制度を紹介するかはあまり思い付かなかったため、制度の勉強ももう少し頑張ろうと思った。

・普段関わることの少ないことだったので、知らないこともありとても勉強になった。
この議題はまた追加でしていただきたいぐらい、学びとなりました。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

・医療保険のもっと基礎編をテーマにしていただきたいです。